

C 次の文章を読んで、問題15～問題20に答えなさい。

この部分については、著作権上の理由により公開できません。

この部分については、著作権上の理由により公開できません。

この部分については、著作権上の理由により公開できません。

問題15 傍線部A～Cを漢字に直した場合、正しい組合せとして、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| A | A | A | A | A |
| 少 | 小 | 少 | 性 | 小 |
|   |   |   |   |   |
| B | B | B | B | B |
| 遠 | 演 | 演 | 延 | 延 |
|   |   |   |   |   |
| C | C | C | C | C |
| 租 | 祖 | 阻 | 阻 | 租 |

問題 16 傍線部(ア)「経済学のもつ二面性」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。

- ① 経済学は、その担い手である個々の経済学者の、各人の個別的な生活体験や、思想的な背景が理論に反映される一方で、普遍的な運動法則を含んでいるという二面性があるということ。
- ② 経済学は、経済現象を理解するための知的探求心や熱い情熱をもつことと、一方で、人間社会に対しては、感情的にならず、一歩引いた冷徹な視点によって考察することが求められるということ。
- ③ 経済学は、人間の営む経済行為を対象とするが、人間の経済活動が歴史的、風土的、制度的な諸条件によってときには悪を、ときには善をもたらすという二面性をもっているということ。
- ④ 経済学は、経済社会の基本的な運動法則を明らかにするという科学であるとともに、すべての人がゆたかな生活を営むためにどのような方策があるのかを探求する実践的な側面があるということ。
- ⑤ 経済学は、性向嗜好が様々な相対的な人間の営みを対象にするものであると同時に、一方で、市場で交換され、取り引きされる財・サービスといった量的に計量可能なものを対象としているということ。

問題 17 空欄□に入れるのに適当な語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。

- ① 規則性
- ② 主体性
- ③ 客観性
- ④ 絶対性
- ⑤ 効率性

問題 18 傍線部(イ)「理論と実証とが相互に関連」とあるが、この具体的な説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。

- ① 経済社会に関わる歴史的、文化的、制度的な諸条件を、それぞれ地域に合わせて観点を取り入れながら理解するのが理論であり、それが普遍的な法則性をもちうるのか、ということを検証する実証によって理論が確立していくということ。
- ② 経済循環のメカニズムをどのように理解するかということを明らかにするのが理論であり、構築された理論を、消費者や企業といった経済主体がどのように実践していくのが実証であり、両者には密接な関係があるということ。
- ③ 断片的な、印象主義的な観察の集まりを排除して、経済循環のメカニズムを社会的な枠組みの中で理解するのが理論であり、理論の構築によって現実にとどのような恩恵をもたらされるのかを実証し、より最適なものを導き出すということ。
- ④ 経済主体である人間の性向嗜好は絶対的・普遍的なものだとして構築していくのが理論であり、構築された理論が、歴史や制度的な諸要因によってどのような影響を受けるのかを実証することで、理論の修正を図っていくということ。
- ⑤ 経済現象の表層と実態的な側面をあわせて分析するのが理論であり、構築された理論が現実には適合するかを検証しながら、また理論を修正したり、否定したりすることで、新しい理論体系の構築が試みられるということ。

問題 19 空欄  に入れるのに適当な語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。

- ① したがって
- ② なぜならば
- ③ たとえるなら
- ④ しかしながら
- ⑤ だが、一方では

問題20 問題文の内容と合致するものとして、最も適当なものを次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。

- ① 経済学の研究に従事する個々の経済学者が、それぞれの個別的な生活体験、その思想的な背景、階級的な位置付けから自由な立場にたつて、「客観的」な分析を進めることができるかという、経済学に対する批判がある。
- ② 科学的客観性を強調しようとする立場においては、経済学は資源をどのように配分すれば、目的をもつとも効率的に達成できるのかということを考察するもので、どのような目的を設定すべきかは問題にすべきものではないとされる。
- ③ 経済学の歴史では、合理主義経済学と、歴史学派や制度学派の経済学という二つの大きな流れがあり、かつては、歴史的、制度的な考え方が主流であったが、近代以降は合理主義経済学が主流となり、経済学のあるべき姿となっている。
- ④ 経済学における理論と実証の関係は、自然科学と同様に整然と類型化されており、これが経済学が科学であるゆえんであり、かつ、社会科学において女王であるといわれるゆえんである。
- ⑤ 一九四〇年代後半から五〇年代の初めにかけて、計量経済モデルの手法が開発され、政策の立案過程に直接影響を及ぼすようになったが、現在はそのモデルが大型化し、一層、経済理論の発展を支えている。